

講演者・司会者のプロフィール (Speaker's Profile)

【開会挨拶】

[Opening Remarks]



豊田 正和 (Mr. Masakazu Toyoda)

(一財)日本エネルギー経済研究所理事長 (Chairman and CEO, IEEJ)
1973年通商産業省入省。1979年米国プリンストン大学公共政策大学院修了、OECD/IEA勤務を含め、貿易・エネルギー・環境などの分野で幅広い経験を積む。2003年商務情報政策局長、2006年通商政策局長、2007年経済産業審議官に就任。通商政策担当者として、APEC創設、日米自動車摩擦の解決、京都議定書合意作り、ドーハ開発ラウンドの開始等に多大な貢献を果たす。2008年内閣官房宇宙開発戦略本部事務局長に就任。内閣官房参与としてアジア経済と地球温暖化も担当。2010年より現職。

【セッション1】

[Session 1]



小山 堅 (Dr. Ken Koyama) 司会(Moderator)

(一財)日本エネルギー経済研究所 常務理事 首席研究員 (Managing Director, Chief Economist, IEEJ)

1986年日本エネルギー経済研究所入所。2001年英国ダンディ大学博士号取得。エネルギー動向分析室長、研究理事などを経て、2011年より現職。東京大学公共政策大学院客員教授、政府審議会委員等を多数務める。専門は国際石油・エネルギー情勢の分析、アジア・太平洋地域のエネルギー市場・政策動向の分析、エネルギー安全保障問題で、関連の著書・論文多数。



エイミー・ジャッフエ氏 (Ms. Amy Jaffe)

米 外交問題評議会 エネルギーセキュリティ・気候変動プログラム・ダイレクター (Director, Program on Energy Security and Climate Change, Council on Foreign Relations, US)

国際的なエネルギー政策、地政学リスク、持続可能性が専門。ライス大学、カリフォルニア大学デービス校、エール大にて教鞭を取る。ライス大学ベーカー公共政策研究所初代エネルギー・ダイレクター、カリフォルニア大学デービス校経営大学院エネルギー・持続可能性所長を経て、2018年より現職。多数の著作を持つほか、数多くの国際会議等での基調講演を行う。メディアへの寄稿、出演も多数。



ポール・スティーブンス 氏 (Prof. Paul Stevens)

英 王立国際問題研究所 特別上席フェロー (Distinguished Fellow, Energy, Environment and Resources, Chatham House, UK) / 日本エネルギー経済研究所 特別客員研究員 (Distinguished Fellow, IEEJ)

1973年からレバノンのバイルート・アメリカン大学で講師やコンサルタントを務め、1979年より英国サリー大学で教鞭を取り、1993年から2008年まで英国ダンディー大学にて石油政策および経済学の教授を務める。専門は国際石油市場、中東政治経済学等。



田中 浩一郎 (Prof. Koichiro Tanaka)

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授 / (一財)日本エネルギー経済研究所 理事 中東研究センター長 (Professor, Graduate School for Media & Governance, Keio University / Board Member, President of JIME Center, IEEJ)

在イラン日本大使館専門調査員、外務省国際情報局分析2課専門分析員、国際連合アフガニスタン特別ミッション政務官などを経て、2004年(財)中東経済研究所イラン・グループ主査兼主席研究員。2005年(財)日本エネルギー経済研究所 中東研究センターGM・研究主幹、2012年には、(一財)日本エネルギー経済研究所 常務理事兼中東研究センター長。2017年9月より現職。

【特別講演】

[Special Speech]

**日下部 聡 氏 (Mr. Satoshi Kusakabe)**

経済産業省 資源エネルギー庁 長官(Commissioner, Agency for Natural Resources and Energy, Ministry of Economy, Trade and Industry, Japan)

1982年通商産業省入省。1989年米国ロチェスター大学留学、2001年 商務情報政策局 情報経済課長、2010年7月 大臣官房審議官(経済産業政策局担当)、10月 内閣官房内閣審議官(国家戦略室)、2013年 大臣官房長、2015年7月より現職。

【セッション2】

[Session 2]

**根岸 真由美 氏 (Ms. Mayumi Negishi) 司会(Moderator)**

ウォール・ストリート・ジャーナル 特派員(Reporter, The Wall Street Journal)

2013年より東京支局にてテクノロジーとエネルギー担当を務め、ゲームや蓄電池、再生可能エネルギー等を通して技術革新の影響を報道。同社以前はロイター通信社にて電機メーカーを担当し、再編とM&Aの現場を幅広く取材。1994年プリンストン大学歴史学部卒業。ニュージャージー州出身。

**ロジャー・ピールキ 氏 (Prof. Roger Pielke Jr.)**

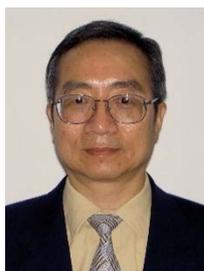
米 コロラド大学 科学技術政策研究センター 教授(Professor, Center for Science and Technology Policy Research, University of Colorado, US) / 日本エネルギー経済研究所 特別客員研究員 (Distinguished Fellow, IEEJ)

専門は科学・技術革新と政治。米国立大気研究センター研究員を経て、2001年にコロラド大学に移った。2001~2007年および2013~2016年まで、科学技術政策研究センター長を務める。気候変動の科学と政治に関する著作多数。2011年からはスポーツ組織のガバナンスに関する研究にも従事している。

**ウィム・トーマス 氏 (Mr. Wim Thomas)**

蘭 シェル・インターナショナル 首席エネルギーアドバイザー(Chief Energy Advisor, Shell International, Netherlands) / 日本エネルギー経済研究所 特別客員研究員 (Distinguished Fellow, IEEJ)

同社グローバルシナリオ部門におけるエネルギー分析チームを率いる。世界規模のエネルギー分析、長期エネルギーシナリオの作成を担い、幅広いエネルギー問題について助言している。掘削操業、地下貯留層マネージメント、ガス事業・規制に携わった経歴を持つ。世界石油会議・英国内委員会議長を務める。

**周 大地 氏 (Prof. Dadi Zhou)**

中 国家発展改革委員会 能源研究所 名誉所長 (Director General Emeritus, Energy Research Institute of the National Development and Reform Commission, China)

エネルギー経済、エネルギーシステム分析が専門。8年間、同所所長を務める。中国のエネルギー輸出入改革、エネルギー価格改革、省エネ政策、気候変動政策における第一人者。中国気候変動諮問委員会副委員長を務めた。世界銀行や地球環境ファシリティなど、世界各地において顧問・アドバイザー等を歴任。

【セッション3】

[Session 3]

**ロビン・ハーディング 氏 (Mr. Robin Harding) 司会(Moderator)**

フィナンシャル・タイムズ 東京支局長 (Tokyo Bureau Chief, Financial Times)
日本の経済、政治、外交記事を担当。現職前には米国ワシントンDC支局にて、連邦準備制度理事会(FRB)から国際通貨基金(IMF)まで、米国経済および国際経済について幅広く取り上げる。

イギリス北東部にあるダラム出身。ケンブリッジ大学および一橋大学の経済学士修得。銀行、アセットマネジメント、公共政策研究など、主に金融関連業界でキャリアを積み、高い専門知識と豊富な経験を習得して、ジャーナリストへ転身。

**ピーター・ハートリー (Prof. Peter Hartley)**

米 ライス大学経済学部教授/豪 西オーストラリア大学経済学部教授 (Professor of Economics, Rice University, US / Professor of Economics, University of Western Australia, AU)

エネルギー経済が専門で、電力を皮切りにガス、石油、原子力、再生可能エネルギーなどエネルギーについて幅広く研究・分析を行う。オーストラリア首相府経済部を経て、1980年シカゴ大学にて経済学博士を取得、1986年までプリンストン大学経済学部助教授、1986年にライス大学へ移る。オーストラリア国立大学、メルボルン大学等での客員教授も勤めた。米国エネルギー経済学会会長、国際エネルギー経済学会会長を歴任。

**ピーター・ライオンズ 氏 (Dr. Peter Lyons)**

元米国エネルギー省次官補 (原子力担当) (Former Assistant Secretary for Nuclear Energy, Department of Energy, US) / 日本エネルギー経済研究所 特別客員研究員 (Distinguished Fellow, IEEJ)

ロスアラモス国立研究所、ドミニチ米国上院議員および上院エネルギー・天然資源委員会科学顧問を経て、2005年から2009年まで米国原子力規制委員会委員。2009年にエネルギー省に移り、2011年から2015年まで次官補 (原子力担当) を務める。現在は、多くの研究機関・企業においてアドバイザー・顧問等を務める。

**ラスロ・バロ 氏 (Mr. Laszlo Varro)**

国際エネルギー機関 チーフ・エコノミスト (Chief Economist, International Energy Agency)

ハンガリーの国立銀行、電力・ガス規制機関を経て、2005年より、総合エネルギー企業MOIグループのチーフ・エコノミストに就任。2011年よりIEAに移り、ガス・石炭・電力市場課長として、供給と需要バランス、キャパシティ投資、供給セキュリティ問題に焦点を当てたエネルギー市場と政策に関する分析を行うとともに、電力・ガスシステムのための環境政策にも関わる。2016年1月から現職、新設された経済・投資部門を率いる。

【閉会挨拶】

[Closing Remarks]

**大慈弥 隆人 (Mr. Takato Ojimi)**

アジア太平洋エネルギー研究センター 所長 (President, Asia Pacific Energy Research Centre)

1973年通商産業省入省。英国ケンブリッジ大学 経済学修士。1993年 経済協力開発機構 (OECD) 代表部参事官、1997年 大臣官房審議官(開発協力担当)、1998年同(通商経済担当)を経て、2001年退官。2001年 (財) 貿易研修センター専務理事、2008年 日本自動車輸入組合 副理事長兼専務理事を経て、2012年より現職。